

取り残されそうな人を 地域で支える

～眼球使用困難症候群を一例に～

シンポジウム

例えば…

わずかな光を見ただけで激しい頭痛に襲われるから、目を開けられない。

なのに…

法的に視覚障害者としての基準を満たさないから、公的支援を受けられない。

さらに…

誰もこの病気を知らないから、周りの人が理解してくれない。そんな人がこの地域にも住んでいる。

ならば…

制度のはざままで苦しむ人をどうすれば支えていけるのか、みんなで考えていきたい。

日時

2025 年

11 月 3 日 (月・祝)

14 時～16 時 30 分 (開場 13 時 30 分)

当日参加できない方で、後日報告書の送付を希望される方は、報告書希望としてお申し込みください。

場所

ユニコムプラザさがみはら
セミナールーム 2

小田急線相模大野駅から徒歩 5 分 (地図掲載)

定員

会場 90 名

オンライン 90 名

参加費無料

プログラム

第 1 部 「眼球使用困難症候群」について知ってください。

- 眼球使用困難症候群の概要と問題点について

井上眼科病院名誉院長 若倉雅登氏

- 眼球使用困難症～暗闇で生きることのリアル～

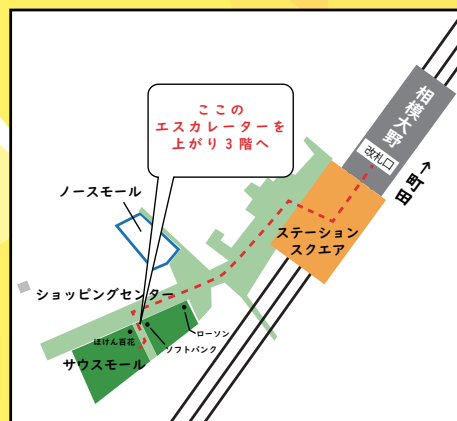
歌手／ラジオパーソナリティ 矢野康弘 (やのっち) 氏

- 地域を繋ぐボランティア ボランティアで支える現状と未来

相模原市社会福祉協議会 中里栄里氏

第 2 部 「取り残されそうな人を地域で支える」をみんなで考える。

国立女性教育会館理事長 萩原なつ子氏



共催

目と心「地域で支える」プロジェクト

NPO 法人 目と心の健康相談室

公益社団法人神奈川県社会福祉士会相模原支部

協力

NPO 法人 Monolith チラシ制作

NPO 法人ここずっと 会場字幕表示 (UD トーク)

後援

相模原市

社会福祉法人

社会福祉法人

相模原市社会福祉協議会

町田市社会福祉協議会

本シンポジウムは、公益財団法人洲崎福祉財団様の助成を受けて開催いたします。

お申込み & お問い合わせ

音声コード
Uni-Voice

目と心「地域で支える」プロジェクト 小島 裕生

2025 年 11 月 2 日メ切 ※定員になった場合は締め切りといたします。

☎ 090-3807-4407 ✉ kojisgm@yahoo.co.jp

お預かりした個人情報は、当シンポジウムに関するご連絡やご案内の目的で使用させていただきます。

